

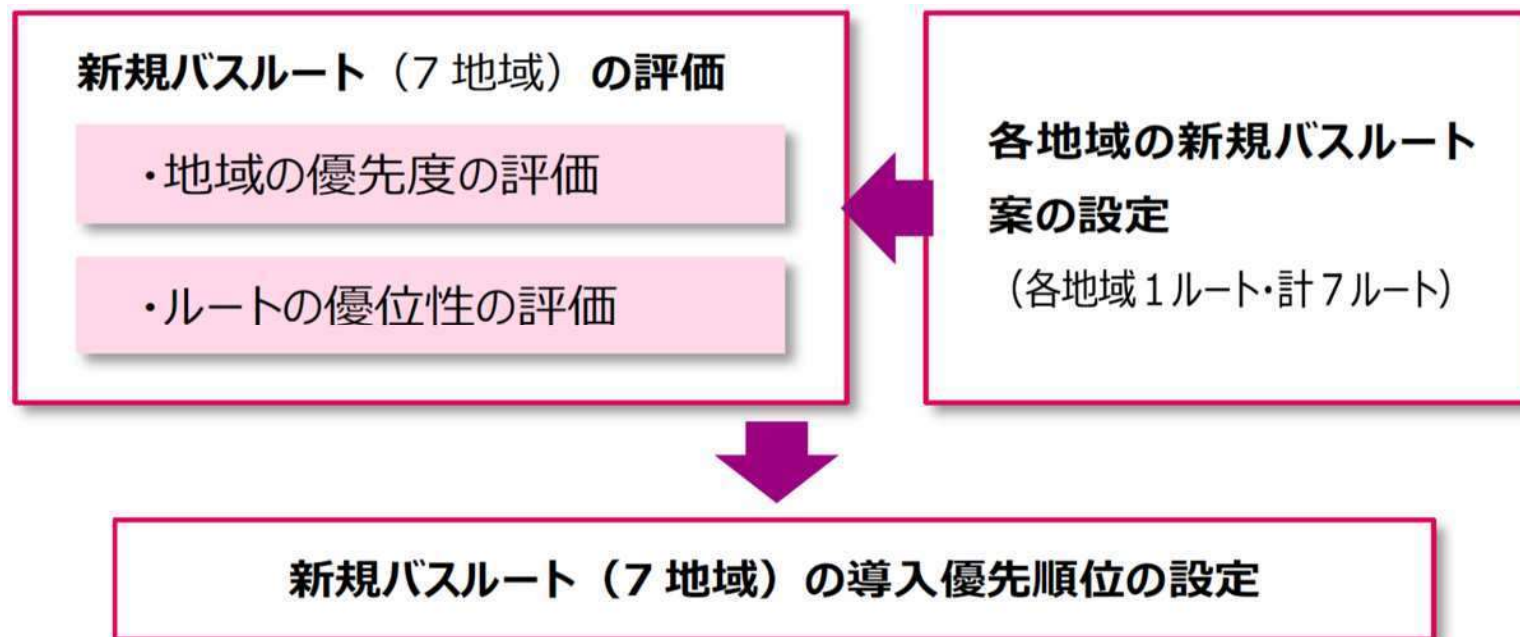


令和6年度第3回北区地域公共交通会議

コミュニティバス（赤羽西地域ルート案）の 見直しについて

①北区地域公共交通計画の考え方

●コミュニティバス新規路線導入優先順位の考え方



[総合点]

	浮間	赤羽西	赤羽東	王子西	王子東	滝野川西	滝野川東
地域の優先度	7点	6点	3点	2点	5点	4点	1点
ルートの優位性	27点	27点	27点	25点	27点	27点	25点
総合点	34点	33点	30点	27点	32点	31点	26点

①北区地域公共交通計画の考え方

●地域の優先度の評価視点

視点1 ●公共交通機能を向上する（不足を補完する）。

公共交通機能を向上すべき箇所の面積、主要駅までの距離等の面から、公共交通機能を向上する必要性を評価の視点としました。



視点2 ●高齢者等の移動を支援する。

高齢者人口、高齢者のみ世帯、運転しない高齢者等の状況から、高齢者に対する支援の必要性を評価の視点としました。



視点3 ●大きい高低差（区の特徴）に対応する。

斜面が多いなど坂道を移動する生活環境の面から、支援の必要性を評価の視点としました。



視点4 ●日々の暮らしを充実、まちの賑わいを創出する。

仕事で出かける居住者や、主要施設まで出かける日々の暮らしの充実、及び集客等によるまちの賑わいに寄与する可能性を評価の視点としました。



視点5 ●公共交通に対する地域の意識・きずなづくりを支援する。

コミュニティバスに対する利用意向の高さ、地域で公共交通を支える意識の高さ等の面から、地域の意識・きずなづくりへの支援の有効性を評価の視点としました。



①北区地域公共交通計画の考え方

●ルートの優位性の評価視点

視点1 ●運行の実現による効果大きい。

公共交通機能の向上、高齢者等への移動支援、大きい高低差への対応、主要駅へのアクセス等の面で、メリットが大きいルート、また、定時性や鉄道との乗り継ぎの利便性が確保できるルートであることを評価の視点としました。



視点2 ●運行の実現への課題が比較的少ない。

既往のバス路線との調整、ルート上の道路状況等に関する課題が少ないルートであることを評価の視点と評価しました。



視点3 ●将来にわたる事業の持続可能性が高い。

収支率がある程度確保されるルート、事業者が運行・運営を継続しやすいルートであることを評価の視点としました。



①北区地域公共交通計画の考え方

●ルート案設定の考え方

①北区コミュニティバス導入の基本的な視点(コンセプト)を考慮する

- ・公共交通機能の向上
- ・高齢者等の移動の支援
- ・大きな高低差への対応
- ・日々の暮らしの充実、賑わいの創出
- ・公共交通に対する地域の意識、きずなづくりへの支援

②各地域～主要な鉄道駅を結ぶ

③なるべく利用者が多く見込まれる施設等を経由する

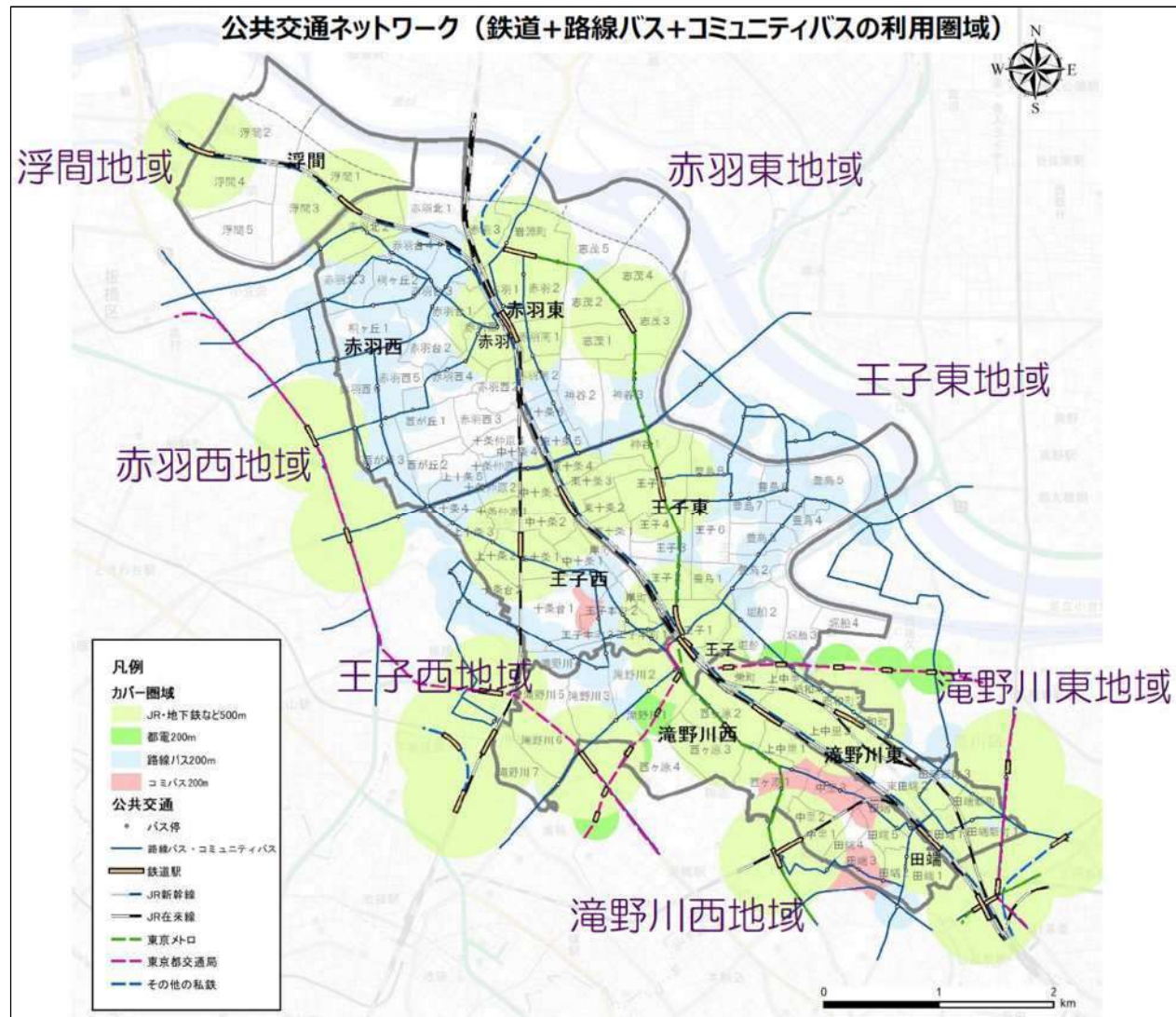
④現行のKバスと同様のバス車両、20分間隔の運行を基本とする

⑤交通規制や道路幅員等の道路状況や、既存バス路線に配慮する

- ・「コミュニティバスの導入に関するガイドライン」（国土交通省）に基づき路線バスとの競合回避の配慮

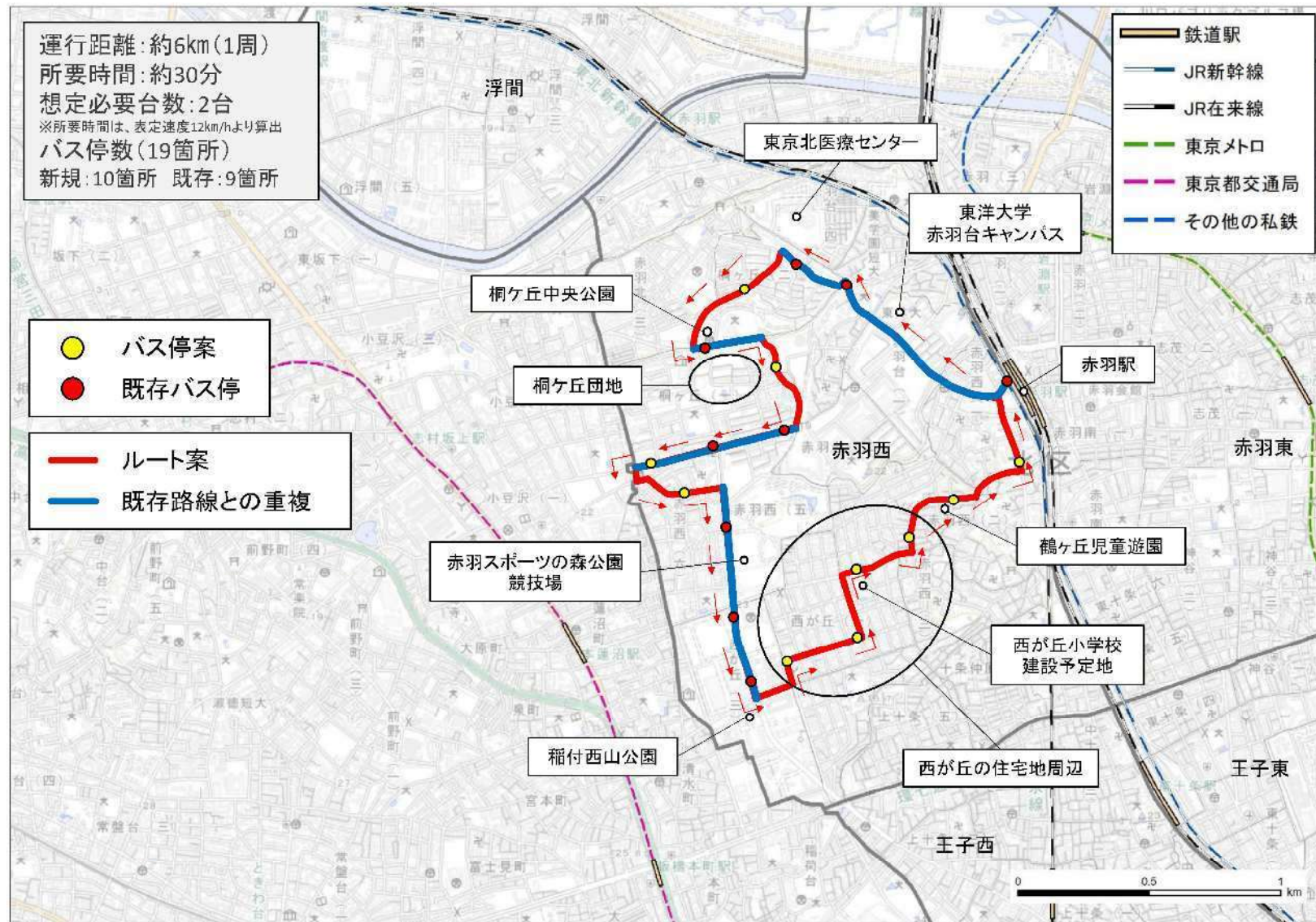
①北区地域公共交通計画の考え方

●公共交通機能を向上すべき箇所



①北区地域公共交通計画の考え方

●コミュニティバス（赤羽西地域ルート案）



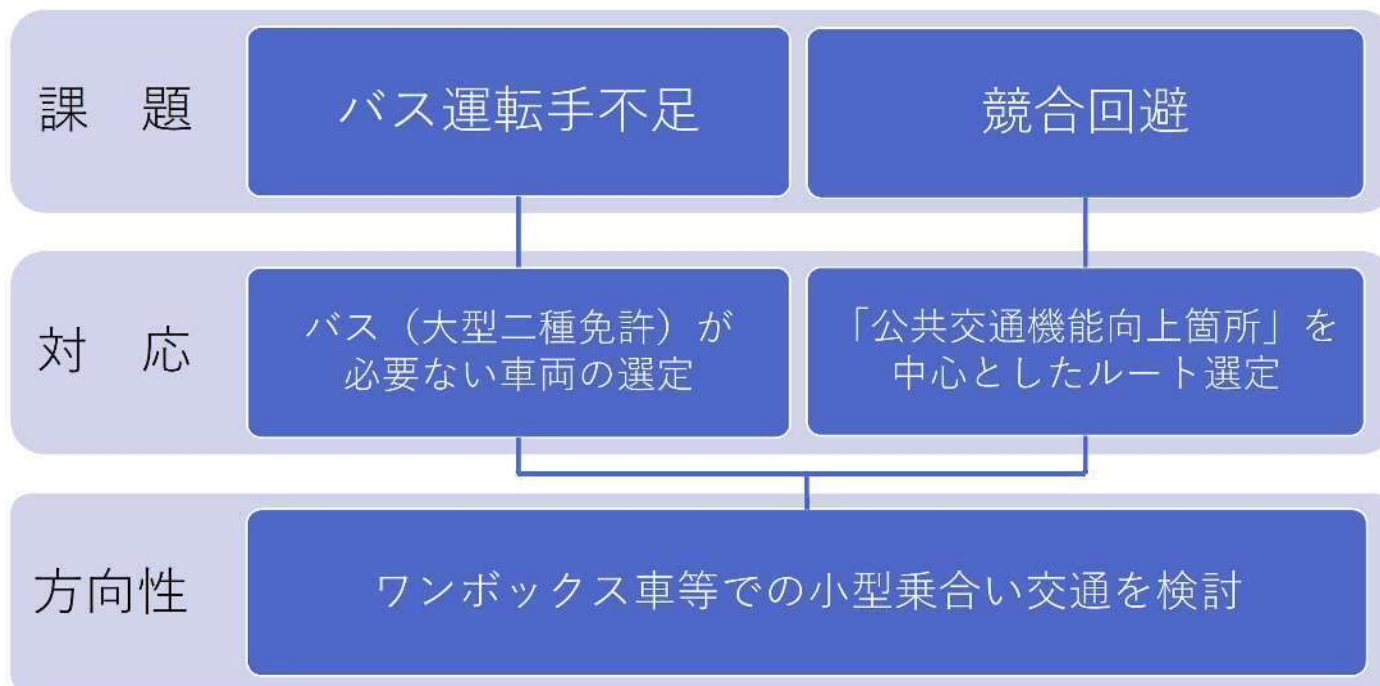
②見直しの方向性

〔検討経緯〕

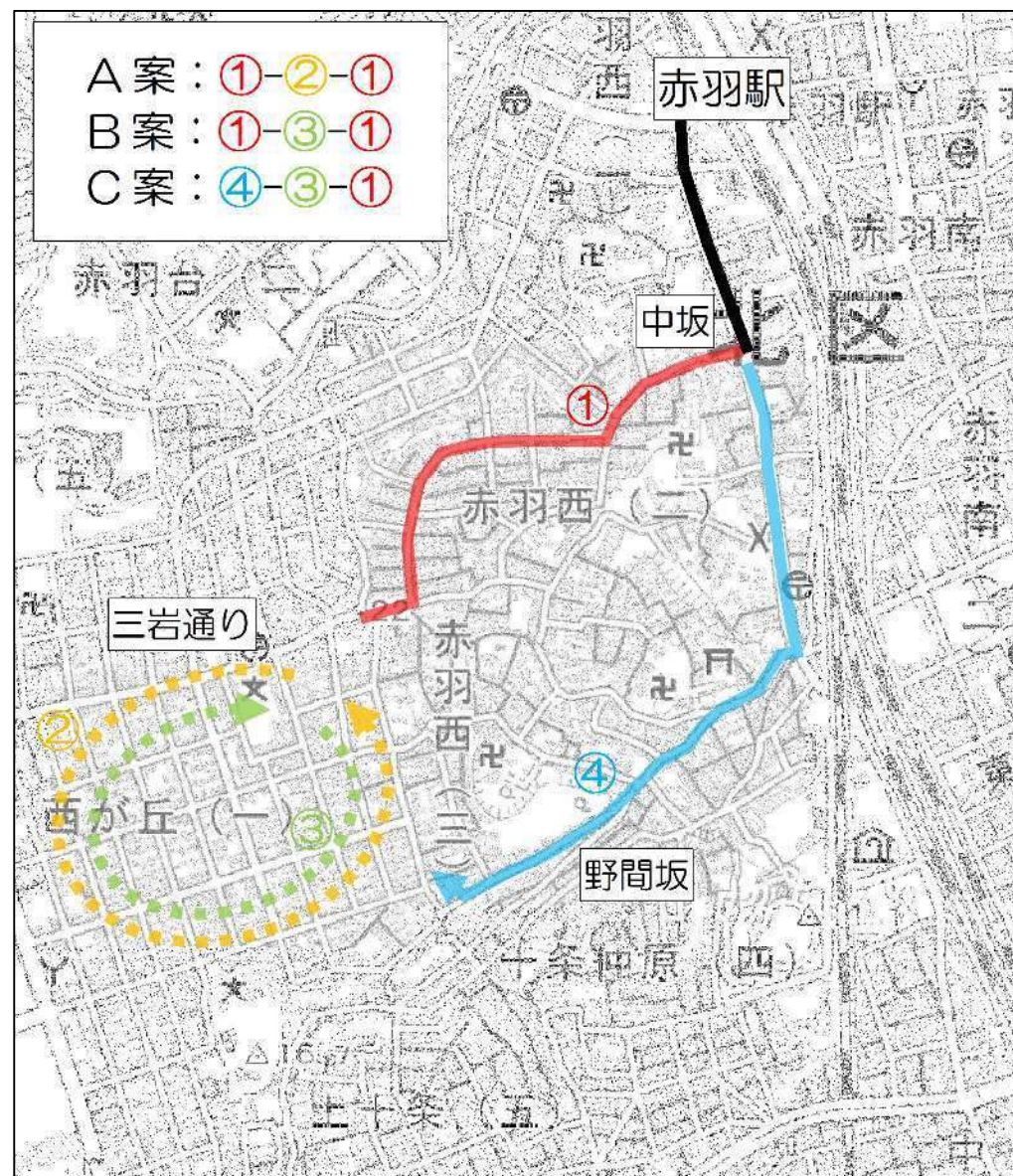
令和6年12月3日 第1回赤羽西地域部会開催

令和7年2月26日 第2回赤羽西地域部会開催

〔見直し方針〕



③見直しルート（素案）



④地元住民の意向聴取

〔アンケート（案）〕

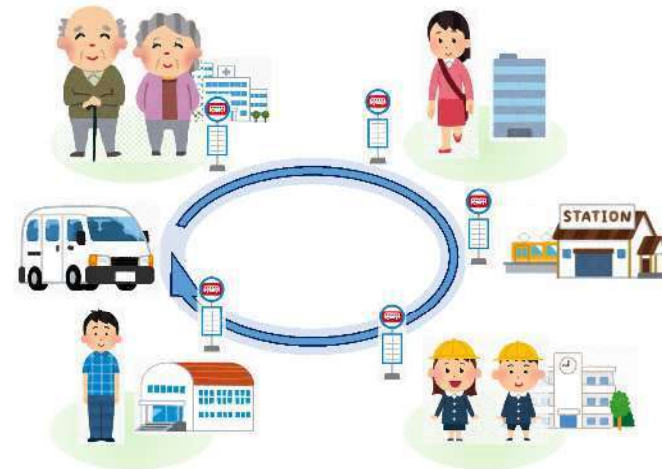
【対 象】ルート（素案）利用圏の住民

【内 容】路線定期（定時定路線）、
区域運行（デマンド）等の
運行形態を選択肢とし、
路線の参考としてルート（素案）
を示す。

区域運行



路線定期



路線不定期



⑤今後の予定

〔スケジュール（案）〕

